

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400636	事業の開始年月日	平成17年12月1日	
		指定年月日	平成17年12月1日	
法人名	株式会社 いっしん			
事業所名	グループホーム いっしん館瀬谷			
所在地	( 246-0015 ) 神奈川県横浜市瀬谷区本郷3-49-1			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成23年9月1日	評価結果 市町村受理日	平成24年1月17日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473400636&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1473400636&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当たり前のことを当たり前！施設の常識ではなく、生活の常識を営んでおります。外食に行ったり、居酒屋へ呑みに行ったりと！年に1度は一泊旅行へも行っております。喜怒哀楽を共にして、明るく楽しく元気にをモットーに日々生活を送っております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年9月22日	評価機関 評価決定日	平成23年10月23日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

この施設は、相模鉄道線瀬谷駅から徒歩10分程の場所にあり、近くに小学校、図書館、公園や神社があり、緑に囲まれた静かなホームです。経営の母体は、株式会社いっしんで茨城県を中心に神奈川県と千葉県でグループホームや訪問介護、デイサービスなどを運営しています。

<事業所の優れている点・工夫点>

1. 利用者、職員共に明るく、仲良く、穏やかに過ごしています。職員の中には外国籍の方も3名居りますが良好なコミュニケーションの基に仲良く、明るく、笑顔が絶えないホームです。外出時や帰宅時に必ず声掛け挨拶をしています。
2. 施設全体が明るくゆったりとしています。食堂・居間・居室は明るく広々としていて利用者および職員は、はつらつとした動きがとれます。
3. グループ全体で宿泊旅行を実施しています。会社全体で毎年家族を含む一泊旅行を楽しんでいます。計画立案は各施設からの委員が自発的に行い実行にあっています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム いっしん館瀬谷
ユニット名	2 F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>理念に基づく運営</b>						
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>基本理念、社内の決め事十則を掲げ、全職員が念頭におき理念の実行に前向きに取り組んでいます。</p>	<p>事務所に会社の「基本理念」および「決め事十則」と事業所理念「一語一笑（いちごいちえ）」を掲げ、全職員でこれの共有と実践を図っています。事業所の理念は毎年職員が話しあって更新することにしてしています。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>事業所のイベントの際は、地域の方を御招きし交流することで、地域との繋がりを大切にしています。</p>	<p>事業所の夏祭りや、秋祭りに、地域の方々や小学生を招いて交流を図っています。地域のボランティアに体操、お茶、フラダンス、歌などで協力を頂いたり、また、散歩や買い物防災訓練などで地域との繋がりを大切にしています。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>こども110番を引き受け地域との連携を常に図っており、夏祭りなどのイベントの際は地域の方々にも参加して頂き、認知症の方でも楽しく生活できることを発信しています。</p>			
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度は開催をし、施設の状況や取組みの報告をするとともに参加して頂いた方々の意見を取り入れ向上に努めています。</p>	<p>運営推進会議を2ヶ月置きに開催することにしてしています。会議では、施設の運営状況などの報告をし、利用者、利用者家族などや地域の方々の意見を参考に運営の改善を図っています。例えば東日本大震災を教訓に非常食の備蓄などの拡充を図っています。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>生活保護者の受け入れを行い、困っている方へのご協力をさせていただくと共に行政との連携も密に行っています。</p>	<p>区の担当者やケースワーカーとはその都度頻りに連絡を取り合っています。区のグループホーム協議会に参加し、情報交換や研修などで活用しています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会社理念に身体拘束は絶対に行わない。と掲げており、夜間以外の玄関の施錠を含め、身体拘束をしないケアを全職員にて取り組んでいます。	玄関は夜間のみ防犯上の理由で施錠しますが、日中は開放し職員はセンサーで温かく見守っています。言葉による拘束をしないよう職員は自分が言われて嫌な言葉使いをしないようお互いに注意しあっています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月に1度のミーティングを行い、職員相互にて指摘や改善策を話し合い、的確な対応がなされるよう注意を払っています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、成年後見制度を利用している利用者様は居りませんが、資料を用意し必要な際には閲覧できるようにしています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約の際は、利用者や家族に納得して頂けるまで説明を行い同意を得ています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設置し、利用者や家族の意見・要望に即座に対応できるよう取り組んでいます。又、ご意見箱を活用することでケアの向上に反映させています。	運営推進会議や、面会時、旅行や行事などの場を通じて利用者や家族の運営に関する意見や要望を汲み取り、また、アンケートの意見も参考に運営改善を図っています。利用契約書に苦情受付窓口、担当者名を明記してあります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	2ヶ月に1回の代表を交えた会議を行っている。意見を出し合い取り入れられる範囲にて反映している。会議以外でも提案あり次第、その都度意見を交換する機会を設けています。	毎月のサービス担当者会議や、代表が参加する会議などで職員からの意見や提案を吸い上げています。金銭面での制約がない限り、利用者に良い方法が採用されています。職員は5つある委員会のどれかに委員として参加し、意見を出すことができます。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全ての職員に対し、就業実績を作成しており、代表含め管理者はその能力に合わせた役を与えています。各職員には、それぞれが向上できるよう役割を持たせて実行しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	早期育成を目的とし業務マニュアル化している。又、3ヶ月に1回講師を招き、社内研修を受ける機会を確保している。又、社内研修にも積極的に参加をしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の同業者への訪問は随時行い、その際に情報交換や、勉強会などの場を設けています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様が安心して相談出来る場を設け、その中でニーズの引き出しを行い、可能な限りニーズに沿って実行しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている	初期の段階では状況や経過観察を逐一家族に報告し、家族の要望を踏まえながら話し合いを重ね、信頼関係を築いています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者・家族が望んでいるサービスを早期に見極め、ニーズに答えられるよう介護計画を作成しています。又、日々のケアに関する話し合いの場や検討会も開催しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、入居者の個性や得意分野を活かしながら、共に支え合い、時間と感動を共有しています。利用者様から学んだり、わからない事は教えあったりと、とても良い関係を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のイベントや年に一度の泊旅行にはご家族もお誘いし、気軽に参加して頂けるようしています。利用者様ご本人について相談があれば連絡を取り合い、共に支え合う関係を築いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所には個別レクとして、積極的に外出し、その関係が途切れないよう努めています。	入居時に利用者およびその家族やケースワーカーなどから生活歴を伺い、利用者それぞれが行きたい処へ個別に対応しています。習い事に行ったり、居酒屋に飲みに行くなどの支援を利用者ごとに個別に対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性を考慮し、職員が間に入る事で調整を図り、共に認め関わり、支え合えるように支援に努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去した場合でも、イベントなどに招き、関係を継続しています。グループホームでの対応が困難な場合でも確実に入居者を支えていけるよう、組織内で体制を確保しています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の話を傾聴し、希望や意向の把握に努め、入居者の希望を尊重しています。又、希望の汲み取りが難しい方の場合は、キーパーソンの方の意見も取り入れ、本人本位に検討しています。	職員は、雑談から意向を汲み取り、また、散歩や入浴などの時に話を伺い利用者個人別の趣味や希望を把握しています。農作業、切り絵、習字、カラオケ、踊りなど可能な限りの支援を行っています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報や、本人との日常生活の会話の中から、これまでの生活歴を伺い、職員もそれを周知した上で対応に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の生活記録や申し送りノートを活用し、常に現状の把握に努めている。必要時にはグループミーティングを行い、全職員にて支援方法を検討しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご利用者様本人・家族の意見を取り入れ、又それに伴ないグループミーティングを開催し、介護計画に反映させています。</p>	<p>利用者およびその家族などの意見を参考にサービス担当者会議で「居宅サービス計画書（１）、（２）」を作成しています。職員は、利用者がしてほしい気持ちを先取りするように常に心がけています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日中・夜間共に個々の生活記録を記入しています。その他周知事項があれば、申し送りノートを活用し情報共有をしています。介護計画において最も重要なご利用者様本人の意について細かく記入し、全職員が把握しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々の支援に着目し、個別レク等を通じてニーズの実現をしています。また、当事業所はグループホーム・有料老人ホーム・介護付高齢者賃貸住宅の3本柱になっており、ご利用者様の身体状況に応じた対応を行っています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>個人ニーズに合わせたボランティアや、定期的なボランティア、介護相談員を受け入れ、外部からの情報なども取り入れています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>1回/2週 全利用者様、往診にて診察を受け、本人及び家族の意向を伝えている。又、日々の生活状況など、医師に伝え適切な医療の提供に努めています。</p>	<p>基本的には、入居時に懇切丁寧に説明し、主治医を提携医に変更して貰うようにしています。眼科、皮膚科など特殊な科目は従来のかかりつけ医で受診しています。この時の送迎は家族にお願いすることが基本ですが施設で対応することもあります。</p>	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員からの申し送りノート、健康管理記録を用い、看護・介護間で情報の共有を行っています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時などは、頻度多く面会に行くことでご利用者の状況を把握し、退院に向けての医師とのムンテラを早期に行っている。又、家族にも報告・連絡・相談を行い、連携をはかっています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアについて入居時や状態が重度化した場合に、ご利用者様本人・家族の意向を確認しています。その後意向に沿って担当医師、家族と連携をとりながら、その人らしい生活を送って頂けるよう支援しています。	入居時に利用契約書に「医療体制、及び重度化・看取りに関する事項」で重度化や終末期に向けた方針は確認していますが、担当医、看護師、利用者およびその家族などと担当職員で相談して方針を決めそれを基に情報の共有を図り支援しています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員の過半数が救命救急講習を終了しており、的確に対応出来るようにしています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の防災訓練を通じ、災害時の対応方法を訓練しています。また、近隣住民の方々にも理解を頂き、協力して頂けるよう関係づくりを行っています。	消防署員立ち合いで年に2回防災訓練を実施しています。地域包括支援センターや地域住民からの協力も得られています。夜間想定避難訓練も行っています。今回は災害時の食料、飲料水、薬など備蓄の見直しをしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人の利用者様に合った対応や声掛けを行い、羞恥心や自尊心を大切にしています。	プライバシーの確保に関するマニュアルは整備されています。職員は利用者を人生の先輩として仰ぎ敬い利用者の誇りや自尊心を傷つけないよう利用者の呼び名や、利用者に対する言葉かけに細心の注意を払っています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	共に喜怒哀楽を表す事で信頼関係を築き、感情の表出を出せるよう、支援しています。その中で決定権は、ご利用者様本人と決め、決定が困難な場合のみ助言しながら決定出来るようにしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴時間を決めるのではなく、ご利用者様に合わせたペースでその都度対応し、支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	買い物などの外出機会を大切に、職員とご利用者様が共に購入する事で、おしゃれを楽しむ機会を設けています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	作る楽しさ・見る楽しさ・味合う楽しさ・片付けの楽しさそれぞれを、職員とご利用者様が共に行う事で、楽しさを提供し、分かち合っています。	利用者の希望や好みを聴き利用者と職員で食材を買いに行き、利用者それぞれができる範囲で職員と一緒に楽しんで食事を準備や後片付けをしています。また、食事の前には必ず嚙下体操を行います。月に1回以上は外食で楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>ご利用者様に合った食事形態、水分など確保し、摂取量など全職員が把握出来るよう、健康記録表へ記入しています。</p>			
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>1人1人の状態や意向に合わせ介助・声掛けを行っています。週1回の歯科往診があり、その都度指導を頂いて、的確に口腔ケアを行っています。</p>			
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>1人1人の排泄パターンを把握し気持ちよくトイレで排泄出来るよう支援しています。紙オムツを使用することはやむを得ない場合のみにし、排泄意識がなくてもトイレへ座って排泄して頂けるよう、取り組みを行っています。</p>	<p>ケース記録をつけ、1人1人の排泄パターンを把握し、職員間で共有しています。時間を見計らって個別にさりげなく誘導して、気持ちよくトイレで排泄できるように支援しています。紙オムツには極力たよらずにトイレでの排泄を大切にしています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>認知症・高齢者の方に便秘が及ぼす影響を全職員が理解しています。まずは薬に頼らず、食事の工夫や適度な運動から便秘解消を図っています。</p>			
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日や入浴時間を一切決めておらず、ご利用者様の希望通りに入浴して頂いています。</p>	<p>利用者の入浴したい日、時間に合わせて入浴しています。一日に数回シャワーをあびる方もいますし、仲の良い方同士と一緒に入ることもあります。1人1人の気持ちや習慣に合わせた支援をしています。拒否される方には積極的に声かけします。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	晴れた日は布団干し・換気を毎日行い、休息しやすい環境を整えています。又、ソファやコタツ・和室スペースを用意し、いつでも休息できるようにしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師・薬剤師の連携を密に図り、職員1人1人が薬の効能や副作用を理解しています。又、薬についての重要性を肝に銘じ、服薬の支援をしています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に役割を持って生活して頂いています。また、嗜好に関しては、居酒屋レクリエーションを開催したり、自由に喫煙できる環境を整えています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月のレクリエーションの他に日常的に外出や散歩、ドライブや買い物を行っています。又、普段行けないような場所でも本人の希望に沿って、個別レクリエーションなどを行っています。	毎日の食材などの買い物でスーパーに行ったり、近くの公園や図書館などへ散歩に出かけています。又、小学校に交流で出かけたり、外食をしたり、山下公園までドライブに行くこともあります。利用者の希望で居酒屋に飲みに行ったりもします。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1人1人希望や力に応じて本人が管理し、支払いを行っています。又、管理が困難な場合は、買い物時の支払いのみを行って頂いているケースもあります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望時、自由に使用して頂いています。番号が押せない場合などは職員がお手伝いし自由に会話を楽しんで頂いています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	レクリエーションの写真等を掲示し、アットホームな空間作りをしています。又、子供っぽくならないようお年寄りの目線に合わせた空間作りに努めており、季節や日々の移り変わりを感じられるよう、冬はコタツ、夏はすだれ等設置しています。	居間、食堂は広々としており、清潔感があり居心地がよいです。居間の奥には解放的な和室もあり、明るい感じがします。利用者さんの似顔絵や、交流をしている小学生のかいた手紙などが飾ってありほのぼのとしています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやコタツ、別スペースに和室があり、いつでも自由に利用出来るようにしています。又、和室にはテレビも設置し、思い思いに過ごせるよう工夫しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や仏壇など自由に持ち込んで頂き、ご利用者様本人が安心して居心地良く過ごせるよう支援しています。	居室は、写真や使い慣れた家具など、思い出の品々が持ち込まれ、壁などは思い思いに飾りつけされ、その人らしさがあふれています。利用者1人1人の好みや趣味を反映した居心地のよい居室となっています。置を希望の方には対応もしています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は全バリアフリーになっており、全体に手すりを設置している。トイレや浴室も車椅子の方が使用出来るよう、広く設計されている。自尊心を損なわないようトイレがどこか迷わないようさりげなく分かる工夫等もしています。		

事業所名	グループホーム いっしん館瀬谷
ユニット名	1 F

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	いっしんの理念、ホームの理念を共有し地域の方々と親しみやすい関係です。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常の散歩や回覧版回し、地域の防災訓練、小学校の祭り等の行事の参加、受入れを行っています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内や幼稚園、小学校、食材購入時、ご利用者様同行で地域との相互理解と支援の場と考えています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域住民との意見交換の場として2ヶ月に1度の頻度で開催しています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	グループホーム連絡会への参加や、職場見学等の受入れの継続により地域に根付いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	時代を作ってこられた先輩方（ご利用者様）を敬って日常の介護にあたっています。身体拘束防止のマニュアルがあります。		
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ご利用者様の身体状況に即して記録や申し送り等で情報共有を行っています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内にスーパーバイザーがあり、適宜対応出来る様体制作りをしています。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様、ご家族様等の疑問点や不安に時間をかけて説明を行い、疑問や不安を解消して御理解頂ける様努めています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御意見箱の設置、アンケートの実施などで頂いたご意見を運営に反映させています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	人事に関しては本社に一任しているがご利用者様の受入れ継続可否等についてはスタッフの意見を参考にし、系列施設内移動などもあります。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は2ヶ月周期で会議に参加し、指導指針に努めています。管理者は定期的に個別面談等を行い、職員の状況把握と状態改善に努め、働きやすい環境を提供しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	早期育成を目標として基本業務をマニュアル化しています。3ヶ月周期で社内研修を実施しており、欠席者にはDVD配布などで共有するようにしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム運営会での職員研修の参加や情報交換を行い、他施設の長所や失敗談などを共有し互いを高め合っています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日々の介護提供や会話の中での情報吸収やご利用者様の訴えや要望を傾聴しながらなるべく意に沿える様な対応をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御意見箱を設置しているが、面会時または電話等で十分に話が出来る時間作りをしています。ご本人様の思いや、ご家族様が求めている事等を理解し、希望や要望をケアプランに組み入れています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームにあって見極め、他のサービスが適している時は、ご家族様と相談し支援しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員、ご利用者様という壁を取り除き、生活を共にする仲間、家族として日常の家事や畑仕事、買い物等、得意分野を生かし協力しあう事で築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何か問題に直面した時は、職員だけで判断せず、ご家族様とも相談し合い、方向性を決めていくようにしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、知人の方への手紙、電話等は、希望する時にいつでも出来る体制にしてあります。面会時間等、制限なく随時受け入れています。また個別レク等を利用して入居前に行っていたことを再現したりなどもしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様のそれぞれの性格を把握し、相性など考慮した上での食席配置や職員が間に入る事で潤滑油の役割を果たしトラブルを防いでいます。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	グループホームでも対応できない場合でもご利用者様を支援出来るように本社、他事業所、医師と連携を図っています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	話を傾聴する事でご本人様がどんなことを望んでいるのかを把握し、ケアプランの作成に織り込み、それぞれを基に職員が日々のケアに努めています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をご本人様、ご家族様から伺い、それぞれの生活環境を把握し考慮した上で生かし共同生活が送れる様に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝礼やケース記録、日誌、申し送り帳を活用し、日々の生活や変化、身体状況の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人様、ご家族様のご意見、ご要望を聞き、ご利用者様主体の生活が出来るようにモニタリングやアセスメントを実施し、介護計画を作成しています。月1度サービス担当者会議を行い、振り返りに沿って今後の対応など話し合いケアに努めています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ご利用者様のケース記録に記入して情報の共有を図っています。館でのヒヤリハットの共有を行い、他館でのアクシデント報告書などを読み情報を共有し今後に活かしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>当事業所は、グループホーム、有料老人ホーム、高齢者住宅の三本柱になっています。医療行為が必要な時は提携している病院に相談し柔軟な対応を行っています。通院の他にも外出や外泊支援なども必要に応じて行っています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>買い物へ地域のスーパーに行ったり、外食などにも出掛けています。ボランティア、近隣教育関連等と連携を取り、外部からの情報を取り入れ、ボランティアの方に来て頂いています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時、ご本人様、ご家族様の希望を確認し希望に沿った医療機関受診も行っています。医師の紹介状や連携によって体制が整っています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が週に2度来館するので、利用者様の状況を相談し、看護師の指示により適切な受診が受けられる体制が整っています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に面会し、担当医師、看護師から病状説明を受け、対応可能な段階で早期退院が出来るように働きかけています。退院後も病院側と連絡を行い今後の対応なども話し合っています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から方向性の確認を行っています。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者様の急変、事故に備え、応急手当が出来よう、マニュアルや救急箱を備えています。全ての職員は救命救急の講習を受講し、定期的に再講習をしています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回実施しています。平成23年6月の地域運営推進会議にて、地域の方にも参加して頂き、協力をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	なるべく個々人の性格や嗜好に合わせた対応が出来る様配慮しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様一人一人の話を傾聴し意見を尊重し決定をご利用者様本人が出来る様な場面作りを心掛けています。意思表示が困難な方には表情、身振り手振りなどを交えて決定出来るようにしています。相互の信頼関係の上で成立しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の希望に沿った支援を行っています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を月に1度利用しています。着替えや身だしなみは本人の意思を尊重した介助を行っています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様のリクエストをメニューに取り入れ、旬の素材を使った献立を作成しています。ご利用者様にも調理や盛り付けを手伝って頂き、食事作りから楽しい雰囲気を作っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必ず定期的に水分を摂って頂いており、状況により水分摂取表も活用しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、就寝前、食後など必要に応じて必ず口腔ケアを行い、週1回洗剤で消毒しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	なるべく自力で行って頂いています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	訪問内科と相談し薬を処方して頂いたり、牛乳を飲んで頂くなどしています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	希望があればその都度入浴して頂き、表なども活用しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でもご利用者の体調に合わせて休息して頂いています。夜間眠れないご利用者様には温かい飲み物を提供し、コミュニケーションを取り、安心できる様心掛けています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬カードや往診記録などを利用し薬の目的や副作用を把握しています。服薬の支援をし、症状に変化があった場合には速やかに主治医に連絡し、指示を仰ぎ対応しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外食や外出レクリエーションを中心に塗り絵、散歩、カラオケなども行っています。洗濯物畳み、食事の準備、後片付けなども一緒に行っています。小学生のお見送りなどもご利用者の楽しみとなっています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があった場合はご利用者の希望に沿うように外出をしています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣い帳を付けている方もいます。一緒に買い物に行ったり、職員が代わりに購入しています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、必ず提供しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔感のある空間になるように心掛けています。ホール内には花を飾り、壁には季節感を出すような展示をしています。また匂いや室温にも気を使っています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室にテレビや炬燵、座イスを置き、他のテレビ前にはソファを設置してご利用様がくつろげる空間を提供しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内では居心地良く過ごせるように、写真や使い慣れた家具などを持ち込んで頂き安心して過ごせる空間作りをしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口には愛称とご本人様の写真を展示し、迷う事のないように工夫しています。トイレや浴室などもご利用様が解りやすい表示をし配慮しています。		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	申し送りノートに、利用者様に対するトピックと、業務についての情報が混在しており、伝達事項が多く、読みづらい。	読みやすく、周知が出来るノート作り。	「利用者様について」と「業務について」それぞれのノートを作り、分かりやすくする。 内容を簡潔にまとめて周知する。	1ヶ月
2	40	作業を独占される利用者様が居る為、時折利用者様間でのトラブルが見受けられる。	誰もが作業に関わる事が出来る和気あいあいとした環境。	スタッフが間に入って、トラブルなく楽しく行ってくれる様、提案、見守りを行っていく。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。